

株式会社 JVCケンウッド

2024年8月30日

AV ナビゲーションシステム“彩速ナビ”シリーズの商品梱包材が 「2024 日本パッケージングコンテスト」において「電気・機器包装部門賞」を受賞

～プラスチック包装材の使用量を66%削減、V字形状によりコスト低減や梱包作業性の向上を実現～

株式会社JVCケンウッドは、KENWOODブランドより発売中のAVナビゲーションシステム“彩速ナビ”シリーズで使用している商品梱包材（緩衝材）が、共同開発者および製造元であるダイナパック株式会社（本社：愛知県名古屋市／代表取締役社長：齊藤 光次）と共同出品した「2024日本パッケージングコンテスト」（主催：公益社団法人 日本包装技術協会）において「電気・機器包装部門賞」を受賞しましたので、お知らせします。

受賞した緩衝材は、従来の発泡スチロール（EPS）から紙（パルプモールド）に素材を変更し、プラスチック包装材の使用量を66%削減、および生産時のCO₂排出量を年間約47トン*削減しました。また、類似の緩衝材ではコの字形状のところをV字形状にしたことにより、コスト低減と、製品を置いてだけで閉じる機構となり梱包作業性が改善され、生産性の向上を実現しました。

当社グループは、環境基本方針「JKグリーン2030」の重要な環境項目として「気候変動への対応」と「資源の有効利用」を掲げており、それぞれCO₂排出量削減、プラスチック使用量削減の目標を設定しています。今後も、全ての事業活動、製品開発、サービスの提供において、環境負荷を最小限にとどめる取り組みを継続していきます。

※当社独自の算出方法による。



＜製品梱包時のV字形状のパルプモールド＞

＜受賞内容について＞

- ・出品作品の名称：V字形状で生産性UP！カーナビEPS緩衝材のパルプモールド化
- ・受賞者：ダイナパック株式会社、株式会社JVCケンウッド（共同出品）
- ・出品作品の主な特長

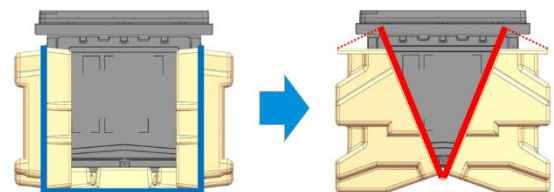
1）緩衝材を発泡スチロール（EPS）からパルプモールドに変更。これにより、プラスチック包装材使用量を66%削減（“彩速ナビ”シリーズ全体では年間約14トン削減）。生産時のCO₂排出量も年間約47トン削減。

2）類似するカーナビゲーション用の緩衝材はコの字形状であったが、今回、V字形状にしたことにより、製造時の展開サイズが約34%縮小し、金型からの取り数が1.5倍に増え、パルプモールドのコストを30%低減。

3）V字形状のパルプモールドは製品を置いてだけで緩衝材が閉じるため、梱包作業性が向上。（特許出願中）

* 本機構はロボットによる箱詰め自動化にも有効であり、その実現に向けた検討を進行中。

4）梱包製品のカーナビゲーションシステムは本体と画面が一体化したチルトモデルで4サイズあり、従来はサイズごとに4種類の緩衝材を使い分けていたが、今回の形状は1種類に共通化し、管理コストを低減させた。



＜コの字形状の緩衝材（左）とV字形状の緩衝材（右）＞



＜製品を置いて緩衝材が閉じる様子＞

＜「日本パッケージングコンテスト」について＞

「日本パッケージングコンテスト」は公益社団法人 日本包装技術協会が主催する、日本のパッケージ技術の最高水準を決定するコンテストです。材料、設計、技術、適正包装、環境対応、デザイン、輸送包装、ロジスティクス、販売促進、アイデアなど、あらゆる機能からみて年間の優秀作品（グッドパッケージング賞）が選定されます。

・公益社団法人 日本包装技術協会「日本パッケージングコンテスト」Webサイト

https://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/jpc_index.html

＜AV ナビゲーションシステム“彩速ナビ”シリーズ＞

“彩速ナビ”は、当社がKENWOODブランドより発売しているAVナビゲーションシステムです。高精度のナビ性能はもちろん、高画質と高速レスポンスを実現する彩速テクノロジーによる優れた操作性、高精細・広視野角HDパネルの搭載やハイレゾ音源への対応などによるエンターテインメント性能、さらにドライバーの安心・安全運転をサポートする各種機能などにより、ユーザーから好評を得ています。現在、主にハイエンドユーザー向けに位置付ける最上位の「TYPE M」、および幅広いユーザーのニーズに応えるコストパフォーマンスの高い「TYPE S」の2シリーズで商品展開しています。

* 受賞した“彩速ナビ”シリーズの緩衝材は、「TYPE S」シリーズと特定販路向けナビの2024年モデルに採用されています。

＜当社のサステナビリティへの取り組み＞

当社グループは、中期経営計画「VISION2025」において、基本戦略の1つに「サステナビリティ戦略」を掲げ、「利益ある成長」と「グローバルでの社会課題解決」を両輪とするサステナビリティ経営を推進しています。環境への取り組みとしては、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、2023 年に環境基本方針を「JKグリーン2030」に改定。同方針では気候変動への対応として、事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減目標などを定めています。今後も、この目標達成に向けて取り組むとともに、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

＜「2024 グッドパッケージング展」での展示（「TOKYO PACK 2024」会場内イベント）＞

受賞した“彩速ナビ”シリーズの緩衝材は、「日本パッケージングコンテスト」の入賞作品が一堂に展示される「2024 グッドパッケージング展」で、ご覧いただけます。

会 期 : 2024年10月23日（水）～25日（金）10：00 ～ 17：00
会 場 : 東京ビッグサイト（東京国際展示場） 東6ホール会場内
主 催 : 公益社団法人 日本包装技術協会（Japan Packaging Institute）
公 式 サイト : <https://www.tokyo-pack.jp/event/event01.php#event01>

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com